



LIFE IN AMERICA



NO.3, OCTOBER, 2017

龍野北高校の皆さん、こんにちは。そちらでは台風で延期されながらも無事に体育祭が行われたのですね。こちらでも日本文化の紹介の一環として、日本語クラスの生徒と運動会を行いました。二人三脚や綱引きなど5種目だけでしたが、クラスメイトと親睦を深め、日本文化を体験するのに絶好の機会となったようでした。



さて、今回は先月31日のハロウィンについて、まずレポートしたいと思います。「きっと本場アメリカでは生徒も先生も仮装して学校に来たりして盛り上がるのだろうか…。」ワクワクしながら当日を迎えましたが、意外にも仮装している生徒は少なく、20人のクラスに3、4人くらいしかいませんでした。週末にパーティをした、という生徒は何人かいましたが、レドモンド高校の生徒の大半はお菓子をもらいに行くこともせず、仮装もあまりしないそうです。どちらかというところ、中学生以下のお菓子をもらって楽しむ日といった感覚のようでした。近年、日本でもハロウィンが浸透してきていますが、主に高校生～大人が仮装して楽しんでいる傾向にあるよなので、年齢層の点でアメリカとは大分違いますね。私の子どもは小学生なので、暗くなってから”Trick or treat (トリック オア トリート)”と言いながら1時間30分ほど近所をまわって右の写真のようにバケツ一杯のお菓子をもらいました。



ところで、もう一つ意外だったのが、「ハロウィンってそもそもどうして始まったのか、その歴史は何なのか？」と質問しても、ほとんどの人がはっきりと知らなかったことです。特に若い世代は知らないようで、日本語1年



生30人から返ってきた答えは「え？キャンディを集めたり、ジャックオーランタン(かぼちゃの置物)を作る日でしょ?」、もしくは「うーん、よく分からないけど確か、楽しいことをして悪い霊を追い払うっていう行事じゃないの?」という程度でした。日本のバレンタインのように、慣習化してきている行事の一つなのかなと思いました。ハロウィンの歴史に興味のある人は<http://harowin.com/history/>を読んでみてください。では、また来月!!